

7. 臓器移植件数(心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓)

項目の解説

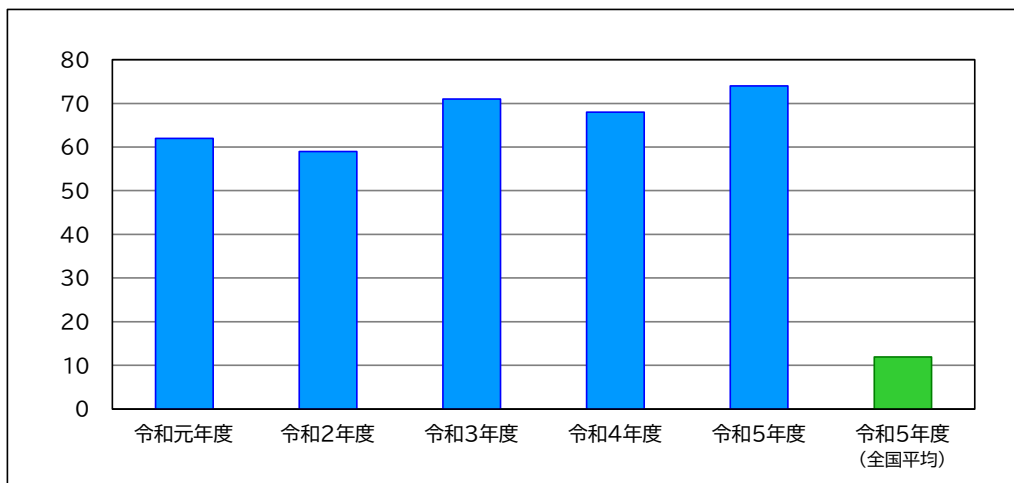
臓器移植を行える施設は限られています。そのため臓器移植の実施は、高度な医療技術、経験のある医療職、十分な設備を持つ国立大学病院の社会的責任の一つといえます。腎移植はすでに定着した技術ですが、心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の移植はまだ難しい問題が多々あります。心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の臓器別の件数は少ないので、ここではこれら五臓器の合計数を示します。

当院での臓器移植件数のうち約7割は、生体肝移植が占めており、福岡県以外の九州、沖縄県および山口県等の医療機関からも紹介をいただいています。

当院の実績

九州大学病院					全国平均
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度
62	59	71	68	74	12

(単位：件)



* 「全国平均」は、国立大学病院の平均値(四捨五入)を示します。

定義

各年度1年間の、心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の移植件数です。
同時複数臓器移植の場合は1件として計上します。



九州大学病院

KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL